

## 第5回紀の川市長期総合計画審議会 要旨

**開催日時** 平成29年5月9日（火） 午後1時30分から3時45分

**開催場所** 紀の川市役所 本庁2階 市民協働スペース

（第1分科会：庁議室、第2分科会：市民協働スペース、第3分科会：502中会議室）

### 出席者

#### 【紀の川市長期総合計画審議会】（委員20名）

仁藤会長、井口副会長、今木委員、西川（武）委員、中川委員、横山委員、柑本委員、岡本委員、植田委員、田村委員、渡部委員、野村委員、尾崎委員、井尻委員、阪中委員、泉中委員、小倉委員、山田委員、右梅委員、赤坂委員、（欠席 楠見委員、西川（泰）委員、高田委員、城口委員、東委員）

#### 【紀の川市（紀の川市長期総合計画本部）】（1名）

森本企画部長（策定本部員）

#### 【事務局（企画調整課）】（8名）

角課長、東、瀧本、西端、西川（受託業者 堀井、小部、石堂）

#### 【傍聴】（なし）

### 資料

- ①「第5回審議会 次第」[※事前配布]
- ②【参考資料①】 「第4回審議会の要旨」[※事前配布]
- ③【参考資料②】 紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシートとりまとめ表  
[※事前配布]
- ④【参考資料③】 紀の川市長期総合計画審議会の全体スケジュール [※事前配布]
- ⑤【資料1】 紀の川市長期総合計画審議会（分科会）委員名簿 [※事前配布]
- ⑥【資料2】 第1回紀の川市ワークショップ（3/12開催）実施報告書 [※事前配布]
- ⑦【資料3】 第2次紀の川市長期総合計画 序論及び基本構想（素案）[※事前配布]
- ⑧【資料3 参考資料】 市の魅力、現状と特性など分析資料 [※事前配布]
- ⑨【資料4】 第2回紀の川市ワークショップの開催について [※事前配布]
- ⑩【資料5】 現行計画の施策検証結果（要約版）[※事前配布]

## 会議の概要

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 新任委員への委嘱状の交付
4. 委員及び事務局紹介【資料1】
5. 議 事

### (1) 前回要旨の確認（指摘事項に対する対応方針）

#### ➤ 事務局

【参考資料①】「第4回紀の川市長期総合計画審議会 要旨」について、第4回審議会終了後に取りまとめ、3月中旬に各委員あて送付、内容をご確認いただき、特に修正等のご意見がございましたので、現在、市のホームページにて公表させていただいている旨報告。

#### ➤ 事務局

【参考資料②】「紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシートとりまとめ表」について、前回の審議会終了後、または審議会においていただいたご意見を一覧表にして取りまとめたものとして、ご意見の内容と事務局の対応について説明。（既に説明済み分を除きNO.11、12について説明）

NO.11について、前回（第4回）の審議会後に、「審議会の全体計画と各回の目当て」として、審議会最終回までの通しの計画表等について提示いただきたいとの意見を受け、【参考資料③】として今後のスケジュールと各回でどの部分について、何をもとに審議する予定なのかを記載し、提示。

NO.12について、骨子案の活用として、これまでの審議や各種アンケート結果、行政の持つデータ等を落とし込んだものを審議のたたき台として提示いただきたいとの意見を受け、今回、議題の（3）として、基本構想（素案）を提示している旨説明。

### (2) 第1回紀の川市ワークショップの実施報告について【資料2】

#### ➤ 事務局

【資料2】に基づき、3月12日に開催した第1回紀の川市ワークショップの概要について、管内の粉河高校、貴志川高校、近大生物理工学部から多くの学生の参加をいただき、62名の参加者によるグループワークを用いた新たな長期総合計画に掲げる今後10年の「紀の川市の将来像」の検討、文章化までを実施した旨説明。

【質疑なし】

### (3) 基本構想（素案）について【資料3】

#### ➤ 事務局

【資料3】に基づき、「序論」部分「第1章 計画の概要」の「(1) 計画策定の趣旨」、「(2) 計画策定の視点」、「(3) 計画の構成と期間」について、既に承認いただいている策定方針に基づき、記載している旨を説明。

続いて、「序論」部分「第2章 計画の背景」の「(1) 紀の川市の魅力」、「(2) 社会環境の変化」、「(3) 紀の川市の現状と課題」について説明（具体的に実施した検証作業に基づく分析結果は、【資料3 参考資料】として、主なものを取りまとめている旨説明）。

#### ➤ 西川（武）委員

4ページに記載の「紀の川市の魅力」における「③豊かな自然と水辺環境」、「④恵まれた歴史・文化」について、魅力として発信するには案内人や伝え手の育成が必要であり、魅力を向上させるには実現させるための手立てが必要である。基本計画への反映が必要である。

#### ➤ 仁藤会長

ご意見のような具体的な取り組み部分の検討については、基本計画の検討において実施する予定であり、現在、審議いただいているのは基本構想の部分であり、抽象的な表現になっているが、3ページに記載のとおり、基本構想の実現に向けてその具体的な取り組みや進捗を基本計画等で検証したうえで、軌道修正できるような構成となっている旨説明。

#### ➤ 事務局

【資料3】のP8、「基本構想」部分「第1章 将来都市像とまちづくりの目標」の「(1) 紀の川市の将来像」について、多くの時間と過程、多くの参加者からの意見を基に、市を取り巻く環境の変化や社会潮流を考慮し、次のステージに向かうための指針となる新たな長期総合計画の【将来像】として、「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち 紀の川市」を事務局案として提案し、将来像（構成する各フレーズ）に込められた想いについても説明。

#### ➤ 中川委員

【資料3 参考資料】のP7に記載のNO.8「環境保全」、「環境への配慮」に関する内容が、【資料3】P11の「(3) 計画体系」のどの部分に関係するのか。構成す

る分野の④「都市基盤・生活環境」の分野の「環境・市民生活」の部分になるのか。

➤ 事務局

環境に関しては、社会の潮流や市民の意識が高くなっている中で、【資料3】P11の「(3)計画体系」の④「都市基盤・生活環境」の分野の「環境・市民生活」の部分として、体系化して推進したいと考えている旨説明。

➤ 中川委員

後ほど開催される分科会の割り振りでは、生活環境・自然環境の分野が1班、都市基盤の分野が3班となっているが、「環境保全」、「環境への配慮」に関しては、共通の項目として後ほどの分科会で意見をして良いのか。

➤ 事務局

分科会の開催目的は、現行計画の振り返り現行計画の検証作業により、市が認識している今後の課題について、審議会委員の皆さまの市民としての目線、各種団体の代表者としての目線から、課題を補完していただくことを目的としており、「環境保全」、「環境への配慮」に関して補完すべき課題があればご意見をいただきたい旨説明。

➤ 野村委員

国内の人口が減少する中で、外国人に頼らなければならない、グローバル化という観点が必要となってくるが、そのような記述が見当たらない。

いろんな視点があるが、紀の川市においては関空に近く、基幹産業の農業、農作物に関しても国内市場だけでなく海外への展開もありえる。いろんな意味で日本国外との関わりをどう位置付けていくか？これから先の10年においては、絶対に考えなければならない。

後半の分科会においても、そのようなキーワードについて考えると新しい視点、課題が挙がってくると思う。

➤ 事務局

ご指摘のとおり、グローバル化については、紀の川市の取り巻く環境の変化においても見られるでしょうし、和歌山県の新たな長期総合計画においても「認識すべき時代の潮流」として「経済・社会のグローバル化」を掲げていますので、今回いただいたご意見については、事務局で検討させていただきたい。

➤ 事務局

「基本構想」部分「第1章 将来都市像とまちづくりの目標」の「(1) 紀の川市の将来像」について、本日ご欠席の楠見委員から事前にご意見をいただいております。「住みよい」というフレーズはストレートすぎないか。「住みよい」というフレーズを「笑顔あふれる」という住みよさが想像できるようなフレーズに置き換え、「人が行き交い自然の恵み 笑顔あふれる 紀の川市」というご意見をいただいている旨を説明。

➤ 仁藤会長

そのようなご意見をはじめ、各委員においては「ご意見お伺いシート」を活用いただき、ご意見をいただいたうえで、紀の川市の将来像について、事務局で検討、調整させていただきます。

➤ 事務局

【資料3】のP10、「基本構想」部分「第1章 将来都市像とまちづくりの目標」の「(2) まちづくりの目標」については、将来像と計画の体系決定後、各政策目標を整理し文章化する予定であり、具体的には、次回の市民ワークショップにおいて、市民参画のもと5つの政策目標のキャッチフレーズのアイデアをいただき、策定作業班による磨き上げを行い設定する予定である旨説明。

P11の「(3) 計画の体系」については、将来像を実現するための計画体系として、【社会的背景】、【紀の川市の現状】、重点施策として推進している【総合戦略の基本目標】、【将来像の各フレーズに詰まった想い】を勘案し、【資料3 参考資料】のP10「計画体系とまちづくりの目標設定の考え方」に基づき、“構成する5つの分野”を設定している旨を説明。

➤ 事務局

【資料3】のP12、「(4) 基本構想の推進にあたって」について、紀の川市の共通の認識(テーマ)として、①市民と行政の協働のまちづくり ②地域活力の維持(紀の川市まち・ひと・しごと創生)に向けた取り組み ③効率的で効果的な行政経営の3つの視点、考え方を共通のテーマに組織横断的、施策横断的、複数の施策が協調し重点的に取り組み、将来像の実現を目指す旨を説明。

➤ 事務局

【資料3】のP13、14の「基本構想」部分「第2章 将来人口」の「(1) 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計結果」については、平成25年に国立社会保障・

人口問題研究所が発表した推計結果を掲載し、「(2) 目標人口」については、平成27年度に設定した「紀の川市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン」における将来展望人口の推計値を用い、計画期間の最終年度である平成38年度の目標人口を「約6万人」として設定している旨を説明。

➤ 事務局

【資料3】のP15、「基本構想」部分「第3章 土地利用構想」については、第2次長期総合計画策定後、新たな基本構想に即した次期都市計画マスタープランにおいて土地利用構想を定めることとし、第2次長期総合計画の基本構想部分に土地利用構想を掲載しない方向で検討している旨を説明。

【質疑なし】

(4) 第2回紀の川市ワークショップの開催について【資料4】

➤ 事務局

【資料4】に基づき、第2回紀の川市ワークショップを5月28日(日)午後1時30分から、市役所本庁7階ラウンジで開催し、市民ワールドカフェやワークショップ等でいただいたご意見をもとに「政策分野ごとに」①優先的に取り組むべきこと、②理想とするまちの姿、③実現するためにできることについて議論を予定。

5月31日(水)には庁内の検討組織である策定作業班のワークショップも予定しており、市民ワークショップで検討された政策分野ごとの「理想とするまちの姿」を表すフレーズから、まちづくりの目標として磨き上げ、文章化までを検討している旨を説明。

【質疑なし】

(5) 現行計画の検証作業について【資料5】

➤ 事務局

【資料1】P2の「分科会委員名簿と本日の会場について」により、分科会ごとの会場、担当する施策、事務局を紹介。

次に、本日の分科会の流れについて次のとおり説明。

各分科会会場に分かれて、前回の分科会から引き続き、担当する分野ごとに「特に  
関心（課題認識）を持たれている施策に関する調査票」に基づき、関心の高い施策を  
中心に現行計画の施策検証結果を活用した課題の整理を実施し、その後、各分科会で  
話し合った内容を分科会ごとに取りまとめ、審議会会場に戻って全体共有する。とい  
う流れを説明。

また、【資料5】「現行計画の施策検証結果（要約版）」により、基本施策ごとに行政  
で認識している課題に対して、①市民・団体からの目線で「補足すべき課題」、②「補  
足すべき市民・団体ニーズ」を中心に、ご意見をいただきたい旨を説明。

今回の現行計画の検証作業で、課題抽出に関する議論が完了する訳でなく、今後、  
新しい基本計画部分を検討する際にも課題抽出の議論を実施予定であり、本日の分科  
会で発言いただけないまでも、新しい基本計画策定時の議論の中でご意見をお伺いする  
機会もあり、ご意見お伺いシートについても活用いただきたい旨を説明。

➤ 仁藤会長

庁内で実施した検証結果【資料5】を参考に、審議会委員としての多角的な視点か  
ら、(新たな長期総合計画のまちづくりの目標として位置付けるべき課題やニーズなど  
の) 建設的なご意見をいただきたい旨を説明。

【3分科会に分かれて議論】

➤ 仁藤会長

事務局に対して、各分科会における「現行計画の検証作業の共有と課題抽出」につ  
いての主な意見を発表することを指示。

➤ 事務局

各分科会における主な意見を発表。

（ 具体的な各分科会での議論の内容は  
◆ 「現行計画の検証作業の共有と課題抽出」  
に取りまとめ。 ）

➤ 仁藤会長

各分科会における「現行計画の検証作業と課題の抽出」についての、議論の内容が発表されたが、詳細については、後日、事務局で取りまとめ、全ての分科会での意見集約分を各委員に配布すると同時に、所属する分科会での追加意見や他の分科会への追加意見をフォローするため、ご意見お伺いシートを配布、回答いただくことで新たな長期総合計画に反映すべき課題等を集約することを提案

【質疑なし】

(6) その他

➤ 事務局

次回、第6回の審議会につきましては、6月中旬の開催を予定している旨のご案内。

6. 閉 会（副会長あいさつ）